

よりよいコンテンツを目指して

巻・頭・言

平成30年度特許庁技術懇話会 常任委員 三田村 陽平

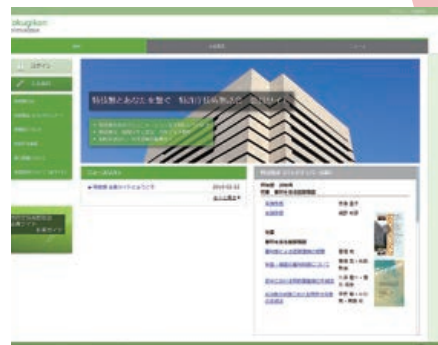
平成30年度の特技懇常任委員を務めております三田村陽平と申します。

特技懇を構成する一組織である常任委員会は、懇親会や代議員総会・意見交換会等の開催から、各会員情報の管理・更新、また広報など、様々な活動を担当しています。いくつか存在する活動内容の中でも、私は特に会員専用サイトである「特技懇会員サイト」の運用に関する業務に携わっています。

この特技懇会員サイト(<https://tokugikon.smartcore.jp/>)は、会員相互間の親睦の活性化、および情報発信力の強化を目的として平成28年度より運用を開始したもので、長い特技懇の歴史の中でも新しい活動に位置づけられています。特技懇会員サイトの運用開始から既に2年が経ち、昨年度には当サイトを用いた初の試みとして特技懇常任委員選挙のオンライン投票を行うとともに、特技懇の日頃の活動に関するアンケートも実施いたしました。また、今年度も既に特技懇懇親会のアンケートを実施いたしました。アンケート結果は会員専用ページの「お知らせ」で公表していますので、是非ご覧ください。会員の皆様におかれましては、ご多忙な中これらの取り組みにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様に実際にご利用いただくことで、徐々に当サイトの存在も浸透しつつあると思います。

現在の特技懇会員サイトの利点の一つとしては、特技懇誌をオンライン上で閲覧可能であることがあげられるのではないのでしょうか。当サイトの会員専用ページでは、特技懇誌の最新号も含めた特技懇誌のバックナンバーを230号(2003年9月号)から閲覧可能であり、会員以外の方もアクセス可能な一般向けのページでも、同様にバックナンバーに関しては閲覧可能となっております。会員のみならず一般の方にも活用していただく機会を広げていくことで、特許行政に寄与し科学技術の振興をはかるといふ、特技懇の目的にも則した活動ができているのではないかと思います。

また、会員専用ページでは会員検索機能と連絡機能も実装しており、正会員(現役職員)と特別会員(OB・OG)の



最新プロフィールを検索して閲覧することや、サイト内でメッセージのやり取りを行うことも可能です。正会員同士の場合、特許庁内のメーリングシステムで簡単に連絡が取れるため、正会員の皆様にとってはあまり必要性を感じにくい機能かもしれません。しかしながら、特許庁を退職された特別会員の皆様にとっては中々連絡を取る手段がなく、このような機能が提供されていることで人と人とのつながりを維持していくことができる、との好評も頂いております。

このように、特技懇会員サイトを利用した活動にはまだ多くの可能性があるかと常任委員会としても考えておりますが、比較的新しい取り組みということもあり、現状では更新の頻度も少なく、皆様に積極的にご利用いただけるようなコンテンツの不足を痛感しております。少しずつではありますが、当サイトを用いて様々なコンテンツを充実させていき、皆様により有益な情報や機能を今以上に提供していきたいと思っておりますので、今後ともご活用いただけると幸いです。

そこで、会員の皆様へ特技懇会員サイトの運営を含む特技懇の活動に関するアンケートを、本誌の発行と同時期に実施することを予定しております。今回のアンケートで頂いたご意見は常任委員会で検討し、今後の特技懇の活動をより良いものとしていくためにご活用させていただきますので、ぜひ会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。